

パターンのエクスポート&インポート

株式会社 HAYAWAZA

本資料では、銀行・Excelのパターンのエクスポートについてご説明致します。

早業 BANK8では、登録したパターンをエクスポートすることが可能です。このエクスポートを利用することで、違う事業所で登録したパターンをご利用頂くことが可能です。パターンをエクスポートする方法は、以下の通りです。

(以下の例は、Excelパターンですが銀行パターンも同様の操作となります。)

※パターンをエクスポートとしても、パターンに紐付けた変換設定はエクスポートされません。変換設定は別にエクスポートする必要があります。

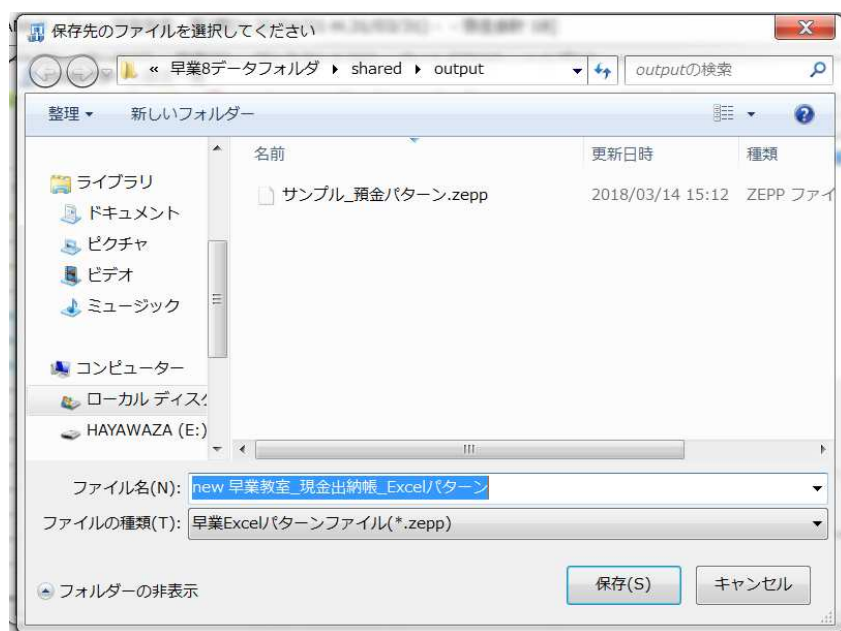
手順1：早業 BANK8を起動して事業所を開き、パターンの設定一覧を表示

今回、上から2つ目の「現金出納帳」のパターンをエクスポートします。

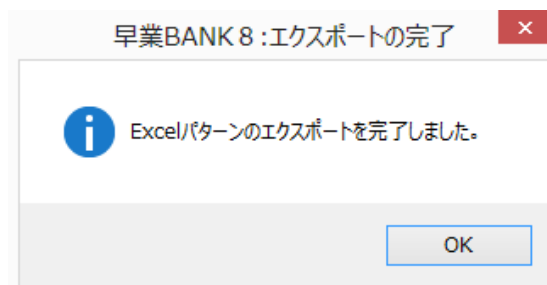
対象となる「現金出納帳」のパターンを選択すると「エクスポート」ボタンが有効になるので、「エクスポート」ボタンをクリックします。



以下の保存先を指定する画面が表示されます。



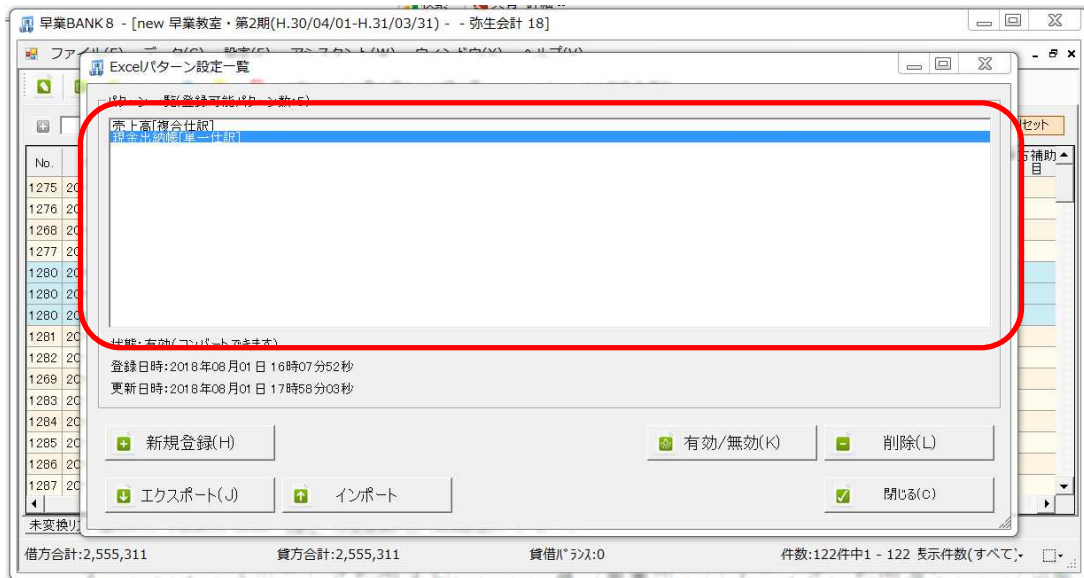
保存先を指定したら「保存」ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。



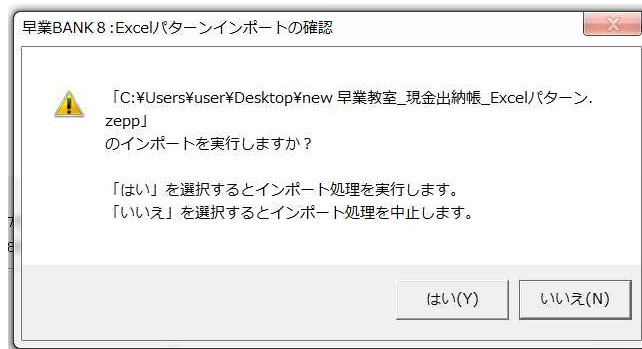
これでエクスポートの処理は完了です。

次は「パターンのインポート方法」です。インポートの手順は以下の通りです。

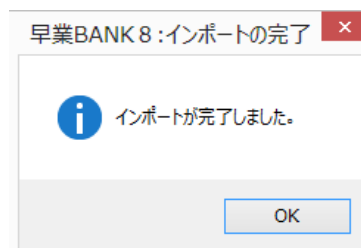
手順1：早業 BANK 8を起動して事業所を開き、パターンの設定一覧を表示



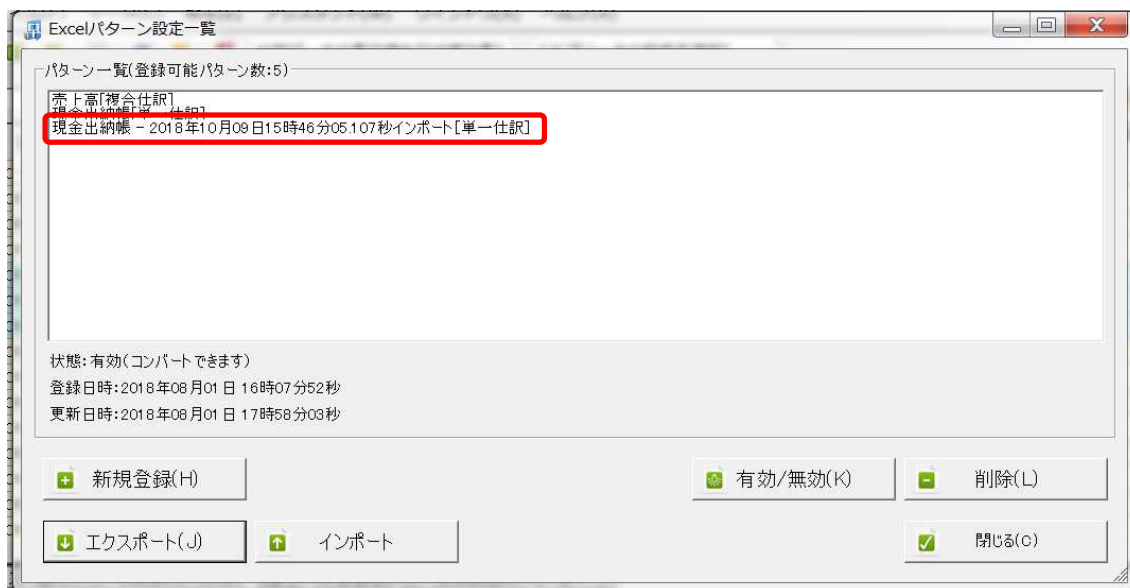
上記の画面の赤い一覧部分に保存されたパターンファイルをドロップします。ドロップすると以下の画面が表示されます。



上記の画面で「はい」を選択するとパターンのインポートが開始され完了すると以下の画面が表示されます。



パターンの一覧画面に、インポートしたパターン名が表示されます。



尚、インポートしたパターンの名称は、「元のパターン名」に「インポート日時」が付加されたものとなります。

これでインポートの処理は完了です。

尚、事業所間でパターンのインポートをする際には、以下の点にご注意下さい。

注意点：

勘定科目、補助科目、部門は、インポート処理時点で作成の確認を行います。

パターンのインポートは、勘定科目、補助科目、部門の名称も確認しながらインポートを行います。よって、インポートを行う事業所にその科目が存在する場合は、その勘定科目、補助科目、部門を利用してパターンをインポートしますが、もし存在しない場合は、インポート時に作成のダイアログを表示します。このダイアログで作成されなければインポート処理は中止されますので、ご注意ください。

以上